

Hello!

私たちが広報室学生スタッフです!

九大広報

KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

2021年 新入生歓迎

特別号

広報室学生スタッフ総力取材!!
シェアしたい九大の魅力

広報室学生スタッフって?

広報室学生スタッフとは、今年で結成9年目となる学生の目線から九州大学の情報を収集・発信する学生チームです。様々な学部、学年の現役九大学生が所属しており、皆さんに九大の「今」をお伝えするために日々励んでいます!

Q 学生スタッフを始めた理由を教えてください!

クリッピング班



今谷さん

大学生のうちに色々な経験をしたと思い、広報室学生スタッフを始めました。クリッピングの仕事は朝8時半から様々な新聞社の新聞を読み、九大や学術研究に関する記事を切り取ります。切り取った記事はまとめられ、学内で回覧されるので、とてもやりがいのある仕事だと思い、始めました。最初は時間内に新聞記事を読み切ることができず、周りの先輩スタッフに助けをもらいながらでしたが、最近は慣れてきたこともあり、読むスピードも非常に早くなりました。

リーダーとなった今ではシフトの調整なども担当することになったので、より責任感を持って取り組んでいます!

取材班



谷口さん



重永さん

取材班では、九大広報の学生スタッフが担当する記事を作成しています。九大で活躍する様々な団体や先生方に取材をし、記事を執筆する経験は他ではできない貴重な体験だと思い、はじめました。

伝えたいことを簡潔に記事にすることはとても難しいのですが、他の学生スタッフや職員の方の意見も伺いながら進めるので、安心して取り組むことができます。また、仕事の時間は学生スタッフの授業日程などを踏まえながら組んでいくため、学業との両立も心配ありません。

取材班では九大公式の広報室学生スタッフFacebookに週1~2回のペースで、個性豊かな学生スタッフが学生の目線で捉えた九大の今を投稿しており、イベントや九大のオススメスポットなど、SNSならではの記事を書いています。

記事のネタを考えるのが意外に大変なのですが、ネタを探しているうちに「九大ってこんな魅力があるんだ」と気づくことも多いです。また、SNSではどんな記事が求められているのかを考えるのはとても楽しく、記事の執筆は非常にやりがいがあります。最近では動画作成にも力を入れているので、是非一度、広報室学生スタッフFacebookを見てみてください!

広報室学生
スタッフ
メンバー

林 萌英(理学府 修士2年)
松浦 稜祐(工学府 修士2年)
今谷 智貴(工学府 修士1年)
三重野 取間(工学府 修士1年)
重永 日向子(共創学部4年)
陣内 未来(教育学部4年)

田中 茜里(教育学部4年)
岡 祐里(文学部3年)
小川 竜矢(農学部3年)
周詞 芙美香(共創学部3年)
谷口 愛実(共創学部3年)
中谷 優介(理学部3年)

張替 創太(農学部3年)
藤井 裕加(共創学部3年)
山上 薫平(工学部3年)
山田 愛翔(経済学部3年)
千葉 涼太郎(農学部2年)
目黒 智将(共創学部2年)



学生スタッフ
Facebookは
こちらから!



<https://www.facebook.com/KyushuUniv.Student/>

※広報室学生スタッフに興味のある方は広報室にお問い合わせください。

●担当学生スタッフ:坂元、陣内



九州大学広報室

TEL:092-802-2130 E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学学生後援会

TEL:092-802-5968 E-mail:gaggkouenkai@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学同窓会連合会

TEL:092-802-2158 E-mail:sycdo-rengo@jimu.kyushu-u.ac.jp

住所変更ほか、発送についてのお問い合わせは、封筒記載の連絡先へお願いします。





新入生に贈るメッセージ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

この日を迎えるための皆さんのたゆまぬ努力と高校までの学びを全うされたことに敬意を表します。また、励まし支えられたご家族や、先生をはじめ、関係者の方々にも九州大学を代表し、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、大学で何を学ぶかを自分で選択し、九州大学に入学されました。

これから始まる大学での学びは、これまで皆さんが経験してきた学びとは異なり、自らカリキュラムを組み上げるオーダーメイドの学びになります。基礎的知識は共通のものもありますが、個々人の好奇心、探求心を極めることができるのが大学の学びです。九州大学には、それを支え、皆さんと共に学びを究める先生、先輩、職員がいます。更に約250万冊の蔵書を誇る中央図書館は皆さんの好奇心を満たし、友人達とのより良い学びの空間になると考えます。

九州大学でも昨年来の新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講義がオンラインでの開講となり、サークル活動は制限され、級友、先輩、先生方との活発な交流もなかなか思うように果たせていません。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種も始まりましたが、集団免疫ができるまでは、もう少し時間がかかります。今後もマスクの着用、手洗いを徹底し、ソーシャルディスタンスを確保するといった新しい生活様式を守っていかねば、自分自身やまわりの人々の健康を守ることはできません。オンライン授業によって、一人で学びを深めることができても、級友や先生方と議論し知恵を出し合ってそれを広げ、より深化させるためには対面授業は

欠かすことができません。大学での教育には人と人との知的交流が不可欠で、大学はそのために感染防止対策を徹底し対面授業を増やすなど教育機会の確保に最大限の努力をしていますが、学生一人一人の賢い行動、努力に負うところも大きいと考えます。活気ある、希望ある大学生活をとり戻すため、皆で協力していきましょう。

九州大学初代総長、山川健次郎先生が1911年の初訓示の中で説かれた「修養が広くなければ、完全な士と云う可からず」は九州大学が大切にしている考え方です。皆さんが各分野の専門性の高い知識を身につけ、社会に出てリーダーシップを執るという重大な責任を果たすには、専門の学問を究めるだけでなく、他の様々なことに対応できる知識や良識を有すべきであるという意味で、初年次で学ぶ基幹教育にもその精神が受け継がれています。

自分で決めた学びを深めやり遂げると同時に、基幹教育もしっかり受け止めてください。本年度より中村哲先生の講座も開設されます。本学の卒業生で特別主幹教授であった先生は、2019年12月アフガニスタンで凶弾に倒れましたが、医師であった先生が井戸を掘り、水路を拓き、砂漠化した土地を緑の農地に変え、アフガニスタンの人々が平和に暮らせるために尽くされました。先生の行いや思い、考え方から私たちは多くのことを学ぶことができます。

希望と熱意にあふれた新入生の皆さん、高い専門性と幅広い良識を持つ健全な社会人になることを目指してください。九州大学はそれを全力で支えます。

九州大学総長 石橋 達朗

Contents

01 新入生に贈る総長からのメッセージ

03 令和3年度 新入生歓迎 学部長からのメッセージ

07 Welcome! 新しい仲間へ ～今こそシェアしたい、私たちの生活～

09 昨年の1年生から 新1年生の皆さんへ

11 高校までとは少し違う?? 大学での過ごし方

13 コロナ禍でも、進化し続ける九大学生

15 [基幹教育科目 先生紹介] 基幹教育で出会う新しい学び。

17 Challenge! 課外活動 [文化系団体編]

裏表紙 私たちが広報室学生スタッフです!

九大広報 2021年 新入生歓迎特別号

KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

■編集・発行：九州大学広報室 〒819-0395福岡市西区元岡744

■TEL:092-802-2130 FAX:092-802-2139

■印刷：凸版印刷株式会社

■撮影：スタジオ サラ

■デザイン：株式会社ライトブレイン

◎お読みになってのご感想やご意見をお待ちしています。

◎本誌記事を転載する場合は、事前に九州大学広報室までご連絡願います。

◎「九大広報」は九州大学Webサイトでもお読みいただくことができます。

この冊子は九州大学広報室学生スタッフが中心となって制作したものです。

学部長からのメッセージ

共創学部長



鏑木 政彦
かぶらぎ まさひこ

【専門分野】
政治思想史

世界が変わっても変わらないことに心をとめよう

新入生の皆さん、共創学部へようこそ。教職員一同、皆さんを心より歓迎します。

皆さんは、コロナ禍の中の入試を乗り越えて、大学に入学されました。受験の準備はたいへんなことだったでしょう。そして、コロナ禍の大学生活がどうなるのか、心配や不安を感じている人も多いと思います。

たしかにコロナのために世界も、大学での学びや生活も変化しています。でも、大学が学びの場であることに変わりはありません。学びとは今の自分を超えていくことです。このことを忘れずに、一歩ずつ進んでほしいと願っています。

共創学部は、今年で開設四年目、はじめて全学年が揃います。四期生の皆さん、共創学部のよき伝統を共に創造していきましょう。

新入生へのおすすめ本

後世への最大遺物・デンマーク国の話

内村鑑三 著／岩波書店 刊

九大生の皆さんには、数十年にわたってパキスタン・アフガニスタンで支援活動をされた中村哲という先輩がいることを忘れないでほしいと思います。本書は中村さんの行動の原点となった一冊です。

法学部長



熊野 直樹
くまの なおき

【専門分野】
政治史

自らの目標に向かって充実した学生生活を

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

皆さんが学ぶ法学・政治学は、社会の規範や動態を主な研究対象としています。法学部は、地域社会、日本社会、国際社会でリーダーシップを発揮しうる創造性豊かな人材の養成を目指しています。そのために法学部では様々なプログラムが用意されています。その1つが「文系4学部副専攻プログラム」です。自分の将来設計に従って科目を学部横断的に履修できます。また3年で卒業し、法科大学院の既修コースに進学できる「法曹コース」も昨年導入されました。これらを積極的に活用し、自らの目標に向かって充実した学生生活を送ってください。

新入生へのおすすめ本

ナマコの眼

鶴見良行 著／筑摩書房(ちくま学芸文庫) 刊

本書は、海産物のナマコを通じて見たアジア地域の壮大な交流を描いています。ナマコを媒介にアジアに暮らす人々の関係を生活や交易を中心に生き生きと描いた独創性豊かな「グローバル・ヒストリー」の先駆です。

文学部長



清水 和裕
しみず かずひろ

【専門分野】
初期イスラム史

社会変動のなかで自らの存在を問う

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

この1年間、みなさんは大きな社会変動に直面しました。社会が大きく動くとき、人間の存在もまた大きく揺らぎます。自分たちはなぜ、どのように生きているのか。みなさんを迎える文学部は、そういった人間の存在そのものや、人間が生み出した社会と文化について、深く学び、研究をしていく場です。哲学・歴史学・文学・人間科学の諸学問に触れ、自分と社会に対する根源的な問いと向かい合ってください。

同時に、文学部では他学部と連携した「文系4学部副専攻プログラム」を用意し、また「人社系協働研究・教育コモンズ」を設置しています。狭い分野にとどまらない広い問題関心を涵養してください。

新入生へのおすすめ本

忘れられた日本人

宮本常一 著／岩波書店 刊

現在の我々は国民国家「日本」に住んでいます。しかし国家・国民という人工的な枠組みとは別に「日本人」の日々の営みは続いていました。「日本人」とは何か、様々な視点から問い直す手がかりを与えてくれる本です。

経済学部長



大石 桂一
おおし けいいち

【専門分野】
会計学

新しい時代に対応するために

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。経済学部は、経済学のツールを用いて現代社会の諸問題に対する解決策を提示できる人材の育成を目指しています。世界はコロナ前とコロナ後で大きく変わりました。そうした大変革に適切に対応するためには、高度な専門性に加えて、幅広い教養と豊かな国際性が重要です。そこで、経済学部では体系的に経済学を学ぶ専門教育のカリキュラムに加えて、「グローバル・ディプロマプログラム (GProE)」と「文系4学部副専攻プログラム」の2つを用意しています。また、「人社系協働研究・教育コモンズ」を通じて学際的研究を推進しています。これらのプログラムを積極的に活用して充実した4年間を過ごしてください。

新入生へのおすすめ本

教養の書

戸田山和久 著／筑摩書房 刊

この本を読んで大学で学ぶことの意味を考えてください。戸田山先生の本は、どれも面白く、ためになります。

教育学部長



竹熊 尚夫
たけくま ひさお

【専門分野】
比較国際教育学

新しい学びと成長を共に考えましょう！

ようこそ教育学部へ！皆さんを心から歓迎します。教育学部は小さい学部です。しかし、だからこそ、皆さん一人一人の成長を見届けることが出来ます。皆さんには、本学部の教育課程で教育や学習の方式、人の成長や発達の仕組みを学び、また、大学内外でも様々なやり方で、自己研鑽に励んでもらいたいと思います。将来、世界や日本で活躍するためにも、幅広い学びに向かう「文系4学部副専攻プログラム」を是非受講ください。また、「人社系協働研究・教育コモンズ」で行われている学際協働研究に触れることで研究の裾野を広げ、未知なる世界にチャレンジしてもらいたいと思います。ニューノーマル時代の新しい学び方や成長のあり方を共に考えていきましょう。

新入生へのおすすめ本

孔子『論語』

下村湖人 訳／PHP研究所 刊 他

古の思想に触れることは、人生で悩んだときの考え方や指針を学ぶことができ、また、異なる世界の人の営みや優れた考え方に触れることができ、更に、人が人を教える／育てることは何であるかを考えさせてくれます。

理学部長



和田 裕文
わだ ひろふみ

【専門分野】
磁性物理学

考える力を養う

新入生の皆さん、九州大学へのご入学おめでとうございます。理学部を代表して心よりお祝いを申し上げます。

皆さんはこれから大学でいろいろな科目を学ぶと思いますが、大切なことは考える力を養うということです。社会が九州大学の卒業生に期待することは考える能力です。大学初年次の理系基礎科目は一見専門分野と関係がないように見えますが、それは頭脳を鍛える場として捉えてほしいと思います。

コロナ禍の中で始まる大学生活は不安なこともあるでしょう。そういう場合は自分で抱え込まずに身近な人に相談してください。いろいろな経験を積んで充実した学生生活を送り、卒業までに人間として大きく成長されることを期待しています。

新入生へのおすすめ本

ご冗談でしょう、ファインマンさん〈上〉〈下〉

リチャード P.ファインマン 著／岩波現代文庫 刊

ノーベル賞を受賞した有名な物理学者の自伝的エッセイ。単に面白いだけでなく、考えることの意味や楽しみを教えてくれる本としてお勧めします。

学部長からのメッセージ

医学部長



北園 孝成
きたその たかなり

【専門分野】
内科学、脳卒中学

医学部へようこそ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を心より歓迎いたします。これから医学部の一員として、よき医療人、よき医学者を目指して、多くのことを学んでほしいと思います。現在、新型コロナウイルス感染症のために遠隔講義を活用したハイブリッド形式での講義が進められています。厳しい環境での学生生活となり申し訳なく思います。ただ、多くの諸君は卒業後には医療の最前線で奮闘し、また、医療の基盤となる基礎医学の研究に進捗することとします。今は力を養う時期と位置づけて豊富な時間をうまく活用して毎日を大切に過ごしてください。志を高くもって有意義な学生生活を送られることを願います。

新入生へのおすすめ本

希望の一滴
中村哲、アフガン最期の言葉

中村哲 著／西日本新聞社刊

故中村哲先生の文章をまとめたものです。中村先生のことはよくご存知と思いますが、あえて、医学の勉強をスタートするこの時期に読んでいただきたいと思います。中村先生の生き方からいろいろなことを学んでいたきたいと思います。

工学部長



園田 佳巨
そのだ よしみ

【専門分野】
構造工学

世の中のニーズに応え未来の社会を切り拓くために

ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルスの影響下で、厳しい受験勉強に耐えて入学された皆さんを工学部の教職員とともに心より歓迎します。初心を忘れず、これからの大学生活を過ごして下さい。工学部は、九大設立時から日本の産業界を担う人財を輩出してきました。皆さんも世界の持続的な発展に貢献する気概を持って下さい。また、Society5.0やDXの言葉が表す今後の技術革新に適応するため、文理両方を学ぶとともにデータ活用能力を高めて下さい。大学では、学びの早さでなく、階段を一段ずつ昇るように根気強く学んで到達した高さが大事です。皆さんの中から、世界を変革する工学者・技術者が現れることを期待しています。

新入生へのおすすめ本

興亡と夢 ①～⑤

三好徹 著／集英社文庫刊

現在の日本につながる戦前・戦時中の昭和の世相を、平易な文章で解説した数少ない書物です。負のイメージで捉えられ、学校教育でも触れる機会が少ない昭和の日本を世界史の中で位置づけ描いた本を読んでみて下さい。

歯学部長



中村 誠司
なかむら せいじ

【専門分野】
口腔外科学

高い志を持って、大学生活を楽しみましょう！

歯学部へのご入学おめでとうございます。意欲と希望に満ち溢れている皆さんを心から歓迎いたします。

歯学部は、歯科医療や歯科医学、さらには幅広く生命科学の教育・研究においてリーダーとして活躍でき、高い専門性と国際性を有した人材の育成を目指しています。高い志のもとに、探求心やチャレンジ精神を発揮して、アクティブ・ラーナーとして勉学に励み、輝かしい未来の礎を築いて欲しいと願っています。

一方、大学生活では幅広く豊かな人間性や社会性を身に付けることも大切です。サークル活動に積極的に参加し、幅広い視野で社会とも積極的に触れ合ってください。よく学び、よく遊び、大学生活を楽しんで、充実したものにしましょう。

新入生へのおすすめ本

スティーブ・ジョブズ
伝記

アップルの創業者であるスティーブ・ジョブズの伝記をお薦めします。本は複数あり、英語の原著と日本語の翻訳本が出版されています。歯科界のイノベーションには、彼の生き方から学ぶことがたくさんあると思います！

芸術工学部長



谷 正和
たに まさかず

【専門分野】
環境人類学・文化人類学

芸術工学へようこそ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。「芸術工学」は、科学技術と人間の最も自由な発現である芸術を融合させた学問分野です。芸術工学部は一貫して「技術の人間化」を理念に掲げ、技術を人間生活に適切に利用するための道筋を設計する「高次のデザイナー」を養成してきました。昨年来、新型コロナウイルスが流行し、多くの不自由が生じています。コロナは遅かれ早かれ収束しますが、その影響は甚大で世界がコロナ前の状態に戻ることはないかもしれません。おそらく新しい世界を創造していかなければならないのだらうと思います。まさに、デザインの出番です。一緒に新しい世界をデザインしましょう。

新入生へのおすすめ本

銃・病原菌・鉄

ジャレド・ダイヤモンド 著／草思社刊

なぜヨーロッパ人がアジア、アフリカ、アメリカを植民地化したのか。なぜその逆にアフリカ人がヨーロッパを征服しなかったのか。今の世界の在りようについての大きな説明がされている。

薬学部長



大戸 茂弘
おおど しげひろ

【専門分野】
時間薬理学

九州大学独自の薬の専門家を目指して

新入生の皆さん、九州大学薬学部へのご入学、誠におめでとうございます。薬学部は、薬の研究と生産、医療の分野で活躍する産学官のリーダーを養成してきました。

1年次の伊都キャンパスでの基幹教育は、学部を越えて教員と学生が一堂に会して学習できる総合大学の特色に満ち溢れ、薬づくりの新たな発想が醸成されます。また2年次以降、医療系学部が集結する病院キャンパスでは、チーム医療や創薬が実践できる最適な環境が整備されています。さらに九州大学薬学部独自の人と地球環境に優しい「グリーンファルマ創薬育薬研究」を推進しています。

常にチャレンジ精神を持って、薬のプロフェッショナルの道に進んでほしいと思います。

新入生へのおすすめ本

LIFE SHIFT(ライフ・シフト)
—100年時代の人生戦略

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット 著／池田千秋 訳／東洋経済新報社刊

長寿化の進行により、100年以上生きる時代、すなわち100年ライフを過ごすこととなる。新しい人生の節目と転機が出現し、ロールモデルもほとんど存在しない中で、自分らしい人生の道筋を描くための羅針盤となる本。

農学部長



中尾 実樹
なかお みき

【専門分野】
比較免疫学

2番目に好きなこと

農学は大変多様な学問分野を含みます。入学から1年半後に専門分野を決め、楽しい学びを実現するためには、それまでに好きな専門分野を2つ以上見つけておくことが有効です。すでに専門分野の希望が定まっている人も、第2候補を見つけましょう。

2番目に好きなことは、あなたに余裕を与えます。2番目が控えているから、1番の目標に思いっきり挑戦できます。1番に失敗しても、途中で嫌いになってしまっても、2番を1番に格上げして再び楽しく頑張ることができます。その時は、すぐにまた2番を補充しておくこともお忘れなく。

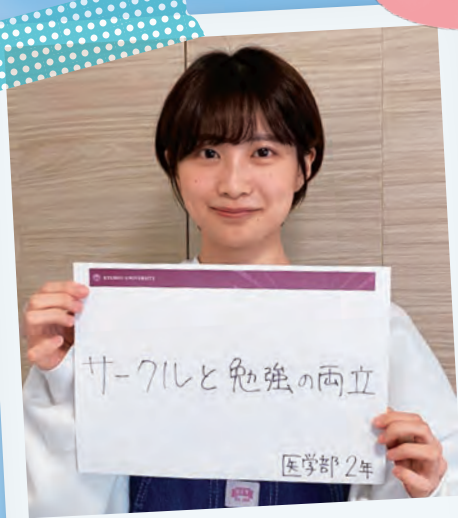
気がつけば、あなたはいろんな引出しを備えた、厚みのある人間に成長しているでしょう。卒業の時を楽しみにしています。

新入生へのおすすめ本

人生と仕事を変えた
57の言葉

NHK「プロフェッショナル」
制作班 著／NHK出版刊

ここに出てくる「言葉」がそのまま皆さんにとっての金言とは限りません。むしろ、困った時に自分を励ましてくれる良い言葉に出会うためには、どんな態度で日々を頑張るべきか、本書を読みながら考えてください。



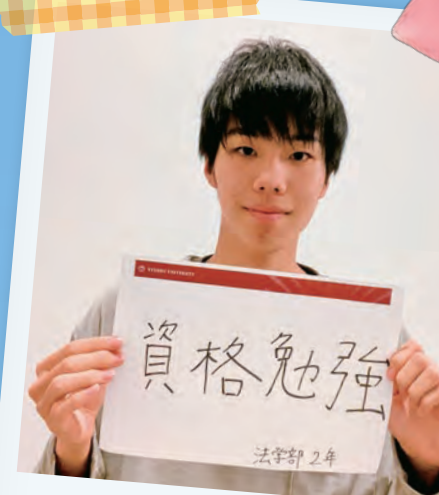
毎月のように対面試験があったので勉強をがんばりました。サークル活動もあり忙しい日々でしたがとても充実していました。



新型コロナの状況がどんなに困難でも、常に大切な人を気にかけています。
No matter how difficult the COVID-19 situation is, I always keep in touch with those I care for.



SNSなどを活用しながら、対面でもなくてもサークルの魅力を発信できるようにがんばりました。



ステイホームで何か自分にとって役に立つことをしようと思い、簿記検定試験の勉強を始めました。



運営の子、出場者のみんなのお陰で素敵なコンテストになりました。



ほとんどがオンライン授業でしたが、2年生になって本格的に学び始めた専攻科目の勉強をがんばりました。

Welcome! 新しい仲間へ

～今こそシェアしたい、私たちの生活～



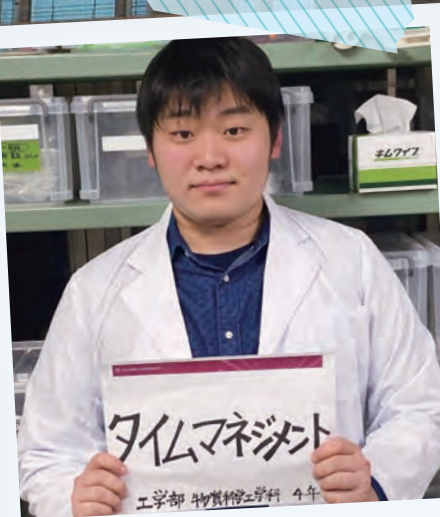
家にいる時間が増えたため、色々な作家の小説を読んで1人の時間を有意義に過ごしました。



健康の維持管理と、おうち時間を楽しむために、毎日自炊をしました。



コロナによる自粛が続きましたが、何事も自ら学び取捨選択することを楽しみました。



限られた時間で、自粛期間中にできなかった実験が効率よくできるようにスケジュール管理しました。



イベントを開催する中で、オンラインだったからこそ新しい出会いがたくさんありました。



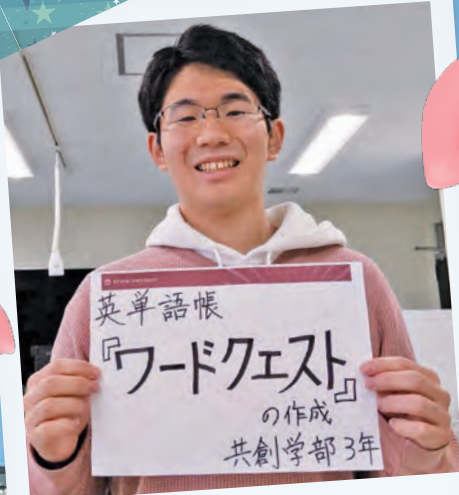
コロナ禍で不透明な就職活動。まずは自己分析に加えて企業研究から早めにスタートしました。



せっかく日本に留学していますので、もっと日本語をうまくなりたい。それができたら、生活に便利だし皆さんとも仲良くなれるといいですね。

新しい日常の中、学内で「みんなはどう過ごしているのだろう」と感じることも多かった一年。新入生の皆さんには、この状況下でも充実したそんな思いで、各学部の先輩方に「コロナ禍で

学生同士の会う機会が減り、？」と感じることも多かった一年。キャンパスライフを送ってもらいたい。がんばったこと」を教えてください。



「大学生による大学生のための上級英単語帳」を共創学部の仲間と一緒に作成・出版しました。

新1年生の皆さんへ
 1年生から
 去年の

新しい環境、新しい生活。コロナ禍によって思い描いていたものとは違うかもしれないけれど、それでも工夫をしながら大学生としての時間を過ごしてきた去年の1年生。授業のこと、サークルのこと、そして新しく大学生生活を始める1年生へのメッセージを、少し前まで1年生だった3人にお聞きしました。



教育学部
 土井 璃子さん

- Q. 入学して講義がオンライン形式になったとき、どう思いましたか？**
 誰にも会えず一人という不安が一番大きく、最初はマイナスな感情しかありませんでした。私は、大学という場所自体がすごく意味を持っていると思うので、大学という場所に行き、大学だからこそ会える人に会えないということをととても残念に思いました。
- Q. 履修登録はどのように工夫しましたか。**
 周りに教育学部に進学した人がいなかったため、初めに、SNSを活用して教育学部の子と

- Q. 入学して講義がオンライン形式に決まったとき、どう思いましたか？**
 想像していた大学生活を満喫できないという点で落ちこみましたが、やるべきことは変わらないと思いました。それは、一人でコツコツと勉強していくことです。
- Q. 例年は先輩がサポートしてくれる履修登録やサークル選びですが、去年はどうやって乗り越えましたか。**
 履修登録は友達と相談しながら解決しました。友達がいなかったら苦労していたと思います。サークルはSNS等で見つけたものやオンラインで説明会があったものに参加しました。

- Q. 1年次はどのように過ごしましたか。**
 僕は、1年次のうちにパソコンのスキルを身に付けたいと思っていました。そこで、今後の勉強の効率を大幅に向上させるためにも、タイピングの練習やショートカットの勉強をしました。ほかにも、自己啓発の本や動画を視聴して、自身の生活について考える時間ができました。
- Q. 1年次で頑張った活動について教えてください。**
 所属しているインカレサークル「STUDY FOR TWO」では、例年、他大学のメンバーとの交流イベントが開催されていました。去年は新型コロナウイルス感染症の影響であえなく中止に。そこで、オンラインで同学年の仲間と



工学部
 自見 壮二郎さん

- Q. 入学して講義がオンライン形式に決まったとき、どう思いましたか？**
 思い描いていたような大学生活ではなく、サークルなどの活動も制限されていて未来が見えなかったことが怖かったです。
- Q. オンライン授業で難しかったことはありましたか。**
 履修や授業の内容などの情報共有に苦労しました。オンライン授業だと、同じ授業を受けている人に質問しづらく、集中力を継続させるのも難しかったです。ですが良い点もあり、私はキャンパスから離れた所に住んでいるため、通学に要する時間を勉強や趣味に充てる事ができました。

- つながりました。そこから履修登録に関する情報を交換できるようになりました。
- Q. サークル選びはどのように進めましたか。**
 九大合格が決まった当初から興味のある団体があり、オンライン新歓に積極的に参加しました。オンライン新歓ではあくまで情報(活動内容・頻度等)を知ることを大事にして、対面新歓でその団体の雰囲気を実際に見てから入部を決めました。
- Q. ピア・サポーターとして活動されているそうですが、始めようと思ったきっかけを教えてください。**
 私は小学生の時に、知的障害を持つ同級生と6年間一緒に過ごしました。大学生になった今でもその経験が印象深く残っていたので、障害のことにに関してより深く学びたいと思い、ピア・サポーターの活動を始めました。

- Q. ピア・サポーターの活動内容について教えてください。**
 ピア・サポーターは障害・支援についての勉強会や「アクセシビリティ・リーダー試験」といった障害者をサポートする資格・スキルの習得など、さまざまな障害者支援に関わる活動をしています。私は「わくわく大学探検隊」という班に所属し、障害のある子どもたちと一緒に大学を探検して大学について知ってもらうことで、進学への意識付けをする活動に携わっています。

ピア・サポーターとは？

九州大学のキャンパスライフ・健康支援センターの中の組織・部門のひとつであるインクルージョン支援推進室の指導のもと、学内の過ごしやすさ・快適さを高めるべく活動している学生。

- Q. 今後の目標を教えてください。**
 ピア・サポーターの活動では、アクセシビリティ・リーダーの資格を取ることが目標です。困っている人を助ける立場になり、この一年間で学んだことを活動に生かしていきたいと思っています。学業では、教育学や心理学の視点から子どもやマイノリティの方と社会の関連について勉強していきたいです。
- Q. 最後に、新1年生にメッセージをお願いします。**
 大学は自分から動かなければより良い時間は築けないし、より多くの人と出会えない場所です。勇気がいるし、体力もいるし、すごく難しいことですが、こんなに時間のある大学生活だからこそ、自ら動いて、世界を広げていってください。

- 交流できるイベントを自ら企画し開催することにしました。事前準備から精力的に取り組む、大きく盛り上げることに成功しました。さまざまな地域の優秀な仲間と交流を深められたことで、今後の活動をより楽しみに感じました。
- Q. 今後の目標があれば教えてください。**
 2年次からはさまざまなイベントに参加して、就職活動の勉強もはじめていこうと考えています。また、プログラミングの勉強に興味を

STUDY FOR TWOとは？

勉強したいと願うすべてのこどもたちが勉強できる世界を目指した全国の大学生による活動。

- 持ち、プログラミングスクールの予約をしたところです。
- Q. 最後に、新1年生にメッセージをお願いします。**
 オンライン中心の大学生活になったとしても、悲観的に考えるのではなく、オンライン特有の(例えば、遠くの人とでもつながれる)メリットを最大限生かしながら勉強していくことをおすすめします。

文学部

後藤 亨典さん



- Q. 自見さんは競技かるたの準名人位ときました。ぜひ競技かるたを始めたきっかけを教えてください。**
 5歳の時、親に百人一首のゲームソフトを買ってもらって、かるたに興味をもちました。そこからずっと競技かるたを続けていて、小学4年生の頃に、九州大学箱崎キャンパスで活動していた「百人一首愛好会」に参加するようになりました。九州大学に進学した理由も、百人一首愛好会での活動を続けたかったからです。



競技中の様子(右が自見さん)

- Q. 自見さんにとって、競技かるたの魅力は何ですか。**
 競技かるたは、覚えることが多いという印象があり、ハードルが高いと思われがちです。しかし、基本となる100枚のかるたを覚えることは、意外とすんなりとできます。そこからの戦略的な部分が奥深く、難しくも楽しいところです。
- Q. コロナウイルスの影響で、競技かるたの練習環境に何か変化はありましたか。**
 夏までは対人で練習することが難しく、家で1人で札を取る練習をしていました。また、競技かるたの大会でも、マスクを着用することが義務付けられ、息が苦しくなることがあるので大変です。
- Q. 今後の目標を教えてください。**
 先日行われた名人戦で負けてしまったので、できるだけ早く競技かるたの名人になることです。また、大学選手権などの大会で、九州大

- 学として団体戦で勝ちたいと思います。
- Q. 最後に、新1年生にメッセージをお願いします。**
 どんな状況下でも、「続けていくこと」が大事だと思います。私の座右の銘は「継続は力なり」で、コロナ禍という限られた条件でも、ずっと継続していたらなにかいいことがあると思い続けてきました。勉強も部活も、コツコツと続けていくことが大事です。

競技かるたとは？

百人一首を使ったかるた競技、100枚あるうちの50枚を使って1対1で行う。自陣と敵陣に札を25枚ずつ置いた状態で開始し、自陣の札をとったら自陣の札が1枚減り、敵陣の札をとったら自陣の札を1枚敵陣に送る。先に自陣の札をゼロにしたほうの勝ち。映画「ちはやふる」などで一躍有名になり、幅広い世代から人気をあつめる。

高校までとは少し違う?? 大学での過ごし方

大学生になったら、いろいろな「初めて」に出会おうと思います。たくさんの施設がそろった大きなキャンパスもそのひとつ! その施設の中でも今回は、わたしたち広報室学生スタッフおすすめの「食堂」と「空きコマを過ごせる場所」をご紹介します!



食堂

ここで紹介しているだけでも6つ! せっかく食事するなら色々なところに行ってお気に入りの場所を見つけよう!

空きコマ

大学生になって初めて体験する、授業のない空白の時間。休み時間の何倍も長いこの時間を、どこで過ごせばいいのだろう?

アグリダイニング

食堂

多彩なメニュー

定食や丼もの、麺類合わせて約20種類とメニューが豊富で、メニューの回転率も高め! 一品料理の種類もとても多くて、ついつい手を伸ばしてしまいます。とり天定食(ソースは日替わり)が人気。この日のソースはさっぱりとした酸味が癖になるレモンソースでした!



見晴らし抜群

九大内でもっとも標高が高い場所にある食堂なので、見晴らし抜群! ウッドデッキでも食事ができます。

E-café

食堂

E-caféの推しは外のテラス!!

昼食時は勿論、授業の空きコマにテラスで談笑する人もいます。開放感のある屋外のテラスでの食事を是非体験してください!

栄養バランスの整ったプレートも魅力

ここ独自のメニューとしてプレートセットがあります。日替わりのスープ、野菜、日替わりの主食と、栄養・量の双方にバランスの取れたメニューとなっておりオススメの一品です!



私のオススメ!



ビッグどら

食堂

ハラール料理の提供も

イスラム教にのった食材のみを使うハラール料理の提供があるのはことQASIS(現在休業中)だけ。

ハラールも食べてみて!



ビッグリーフ

食堂

麻婆唐揚げ丼(大盛)

定食のご飯のサイズはL~3Lまで同料金! 丼や麺類は大盛、特盛にできます。全部のせカレー、全部のせ丼などガッツリ系メニューもあります。

他の食堂とは違ったメニュー

他の食堂はすべて生協が運営しているのでメニューは共通です。しかし、ここは生協の学食ではないので、ひと味違う唐揚げやカレーを食べられます。週替わりの丼や麺類、2種類の日替わり定食、豚角煮定食など、ここでしか食べられないメニューもあって飽きません。



理系図書館

空きコマ

多様なジャンルの専門書

生物学、化学、農学など、幅広い理系分野の専門書が揃っており、自分の好きな分野の勉強を深められます。入門書も豊富なので、教科書が分かりにくいときにもぜひ利用してみてください!

快適で集中できる空間

窓際の席は眺めがよく、天気がいれば福岡タワーも見えます。電源がある席とない席があるので要注意です。



気分転換にも!



嚶鳴天空広場

空きコマ

実はセンターゾーン内にも過ごせる場所が!

センター2号館4階にあるため、ちょっとした時間にも行きやすい勉強スペース。人と話しながらの作業もOK!



気軽に行けます!



中央図書館

空きコマ

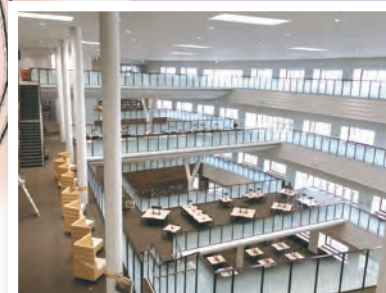
自分に合った勉強の空間を探せる!

木目調の勉強机、カラフルな椅子で彩られている場所、一人用の座席などなど。自分の勉強スタイルに合った好きな場所がきっと見つかるはず。



ちょっと楽しい仕掛け

1階から4階まで吹き抜けになっていて、広い伊都キャンパスとは言えど、他にはあまりないひろけた場所。ハンドルをぐるぐる回して動かす本棚もあります。



メインダイニング

食堂

一番の推しは、メインダイニング特有の自由な雰囲気!

全学部の学生が1年次に主にこの食堂を利用するため、多種多様な学生が入り混じる食堂です。サークル活動が出来る時には、よく活動を終えた学生が集まる場所として利用しています。足を運ぶ機会があれば、是非体感してください。



こってり風味な台湾まぜ飯

水菜、ミンチ、卵がご飯の上ののっており、バランスの取れた一品です。オススメの食べ方は周りの目を気にせず、丼全体を混ぜること!

ビッグスカイ

食堂

ガラス張りの開放的な空間!

天気がいい日にはとても明るい食堂です。日の当たる木目調の座席もあり、少し特別な気分でご飯を食べられます。



お気に入りの席!



知るカフェ

空きコマ

キャンパス外で過ごすのも一手

キャンパス外にも空きコマを過ごせる場所があります! 大学生・院生向けの会員制カフェです。Wi-Fi・コンセントがあり、ドリンクが無料になるサービスも。会員登録はアプリから可能です!



詳しくはWEBで確認!

施設の開館時間等については、新型コロナウイルスの影響で変更される可能性があります。

食堂

<http://www.coop.kyushu-u.ac.jp/>

図書館

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja>



嚶鳴天空広場

<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/about/q-commons.html>

知るカフェ

<https://shirucfe.com/>





元岡OPEN SALONスタッフ
柴田 紀裕さん 理学部2年

Q. 元岡OPEN SALONの活動内容を教えてください。

このサロンは地域の社会人と有志が集まった九大学生が運営をしています。興味関心が似ている個人や団体の橋渡しをしたり、相談者の力になれる人を紹介したり、皆様からの持ち込み企画を盛り上げるため、集客や運営をすることもあります。他にもサロン内に大学や地域の情報誌を掲示し、開催されるイベントや公開講座の情報提供も行っています。

Q. 元岡OPEN SALONに参加したきっかけは何ですか？

私は「関心・興味が似通った人同士を繋げ、悩みを持つ人とそれを解決できる人を繋げること」を全うしており、「せっかくながつながった人たちが一緒に活動できる空間」を作りたいと思っていました。そんなとき、元岡OPEN SALONに出会い、もっとたくさんの学生、地域の方々にこのサロンを使っていただけるよう、運営や広報の向上を図りたいと考え、サロン運営に参加しました。

Q. 大学の環境や、周りの方から受けた影響はありますか？

影響を受けたことの1つ目は、自身の地元である広島と元岡が似ていたことです。元岡で暮らしていくうちに地元を盛り上げるように、元岡を活性化させたいという思いが生まれました。2つ目は大学付近で開催される行事に参加した際、地

域の方から九大学生の参加が少ないという話を聞いたことです。これをきっかけに多くの九大学生に参加してもらい、地域イベントを盛り上げていきたいと考えようになりました。この活動を始めたばかりのころは参加者が集まらなかったり、同じ熱意を持った運営者がなかなか見つからなかったりとうまくいかないこともありましたが、解決策を練りながら活動を続けることで賛同して下さる方が増えていきました。この経験は今のサロンの運営方針につながっています。

Q. 後輩へ向けてメッセージをお願いします。

あなたの思いに共感してくれる人、そしてそれに応えたいと思う人はあなたの周りにたくさんいます。そして、単独で作上げたときの価値よりも協力して作上げた価値は何倍も大きくなります。元岡OPEN SALONでできたつながりから、自分の価値が変化し新しい発見があることを多くの方々に共感してもらいたいと思います。

元岡OPEN SALONとは？

「地元と大学」がつながる交流拠点として2020年9月に開設されたコミュニティスペースです。九州大学の学生や教職員、地域の方たちの「交流の場」として、どなたでもご利用いただけます。交流を促す様々なイベントを開き、皆さんへ情報をお届けしています。



進化し続ける九大学生

主体的な工夫と努力で、勉強と両立しながら様々な分野で活躍する

先輩たち。今回はそんな気になる先輩たちに話を聞いてきました！



iGEM Qdaiチーム代表
須田 紫野さん 理学部3年

Q. iGEMへの参加にむけてどのような活動をしましたか？

自分たちで地球の問題を解決するアイデアを出してテーマを決め、実際に企業や行政の方に話を聞きに行きました。合成生物学は生物学と工学が融合したような学問なので、生物だけでなく工学的な知識を得るための勉強会もしました。今年は新型コロナウイルスの影響であまり実験ができなかったですが、オンラインミーティングや勉強会をして大会に備えました。

Q. 今回初めてiGEM Qdaiチームを立ち上げたきっかけは何ですか？

2年生の時の留学です。1年生の頃から第2外国語で履修した中国語が楽しくて熱心に勉強しており、また、ドミトリー3で留学生と関わる機会も多く、留学に興味を持っていました。2年生の時にシンガポールへ留学し、その時に現地で講義を受けた、合成生物学に興味を持ち、現地のチームの一員としてiGEMに参加しました。その経験を活かして九大のメンバーで参加したいと思い、チームを立ち上げました。

Q. 一からチームを立ち上げて、リーダーとして率いていくのはとても大変だったと思います。なかでも特にこれは大変だったなということは何でしょうか？

1つ目はメンバー集めです。生物学科のSNSを活用し、あちこちに声をかけて募集しました。メンバーの中には高校で生物を履修していない工学

部生もいたので、チームマネジメントにも苦労しました。2つ目は資金集めです。活動資金は自分たちで集めなければならず、QRECという九大内部のサポート事業に申請したり、iGEMの中の資金獲得のためのコンペに参加したり、企業の方に寄付を頂けるようお願いしたりしました。3つ目は先生集めです。実験の時についてもらう先生を自分たちで探して依頼しました。

Q. すべて自分たちでやらなければいけなかったんですね…。そんな経験を経て、今後取り組みたいことは何ですか？

4年生となる今年は、卒業研究を頑張ります。iGEMで勉強した合成生物学ではなく、3年生の研究室インターンの際に興味を持った細胞生物学を研究する予定です。将来的には生物学を極めて、多くの方に科学の楽しさを伝えることで文化の違いの架け橋になりたいと思っています。

iGEM(アイジェム)とは？

合成生物学という新しい生命の機能やシステムを実際に作って調べる学問分野の国際大会です。地球上で起きている食料や医療、環境など様々な分野の問題を、合成生物学を使って解決するための研究内容を競います。いわゆる生物学版のロボコンです。今年は須田さん率いるiGEM Qdaiチームが本学から初めて参加し、「リン」の環境問題と資源問題を同時に解決することを目指した研究テーマで銀賞を獲得しました。

Q. 大会に向けて普段どのような活動をしているのですか？

エンジニアチーム“FUKUOKA NIWAKA”に所属し、九州を中心に集った大学生や高専生たちと、博多にある「ニワカラボ」を拠点に日々ロボット制作に励んでいます。2020年大会は惜しくも新型コロナの影響でオンライン大会になってしまいましたが、国際枠で見事1位を取ることができました。

Q. ロボットに興味を持ち、この大会に出場したきっかけを教えてください。

元々小さい頃から工作が大好きで、高校の時にロボット競技をはじめました。そこからWROやNHK学生ロボコン出場を経て、次は「世界一になりたい!」という想いを抱いていた時に偶然スカウトされました。

Q. 大会に出場するまでに苦労したことはありますか？

ロボットづくりそのものも大変ですが、活動が続いていくために資金調達や学生エンジニアのリクルーティングなどにも気を払う必要がありました。また、世界大会に出場した際には何台ものロボットを国際輸送しましたが、海外で「これは競技用ロボットだよ! 怪しいものじゃないよ!」と弁明するのが大変でした(笑)。

Q. 大会を経て、今後どのようなことに取り組む予定ですか？

博士課程に進学し、さらに研究面でも競技面でもロボットにのめり込んでいくつもりです。やはり現地で世界一になりたいので、その志を強く持ち、仲間達と共に頑張っていきたいと思います。

Q. 学部生の時を振り返って、当時頑張ったことはありますか？

学部でもNHK学生ロボコン優勝を目指して毎日工房に通い詰めていました。ずっとロボットのことを考えていましたね。勉強との両立は大変でしたが、様々な講義を履修し、心理学・工学・農学・哲学など様々な領域から感性ロボティクスに関する研究を行うことができました。悔いはないですね。最高の学生生活です。

Q. 新入生に向けてメッセージをお願いします。

様々な制約がある状況ですが、まずは九大に入学されたことを嬉しく思います。あなた自身が、人生をかけてのめり込めるものが見つかることを願っています。また、ご自身の専攻だけでなく、世の中にどんな学問や概念が存在するか、ぜひ貪欲に学んで欲しいと思います。その「道草」は、きっとあなたの道を切り拓くでしょう。

RoboMasterとは？

国際ロボットバトル“RoboMaster”は、ロボット同士で球を撃ち合い相手の陣地を攻め落とす大会です。攻撃だけでなく、防衛・レスキューなど戦略に富み、またPCを使って操縦するe-sportsのような競技性も話題を呼んでいます。毎年8月に中国・深圳で開催されており、日本やアメリカをはじめ各国の学生エンジニアが技術力を競う大会です。



国際ロボットバトルで活躍する
古澤 美典さん
統合新領域学府 修士2年

Q. 現在どのような活動をしていますか？

アーティストの方と音楽関係の映像制作をしています。コロナの影響もあり、最近はイラストを使ったミュージックビデオの制作が多いですね。他には、ライブ背景の映像や、3Dモデルを使ったVTuber(バーチャルユーチューバー)の活動のお手伝いをしています。1つを制作するのに1ヶ月くらいかかりますね。

Q. 今の活動を始めたきっかけは何ですか？

小規模すぎて映像会社が受け負えないような映像の仕事をしている大学の先輩に誘ってもらって一緒に映像を作り始めたのがきっかけです。そこから、SNSで人脈が広がっていき、個人で仕事をもらえるようになり、今ではアルバイトで映像系の色々な仕事もしています。

Q. いつから映像制作に興味がありましたか？

小さい頃から音楽が好きで、ミュージックビデオを見ることも大好きでした。僕が小学生の頃にユーチューバーが流行っていて、その映像づくりに興味を持ち、実際に映像を少し作ってみたことがきっかけで、映像制作したいと思うようになりました。

Q. 大学1年生の時に意識して勉強した事がありますか？

2年生になって専攻科目が増えてきてから、基幹教育が楽しかったと思うようになりました。僕は1年生の時、単位数は十分でしたが、内容に関わ

らず、余分に授業を履修したり、聴講をしたりする科目がありました。そこで幅広く学んできたことが今に活きていると感じているので、様々な種類の授業をとってみたいことが大事だと思います。

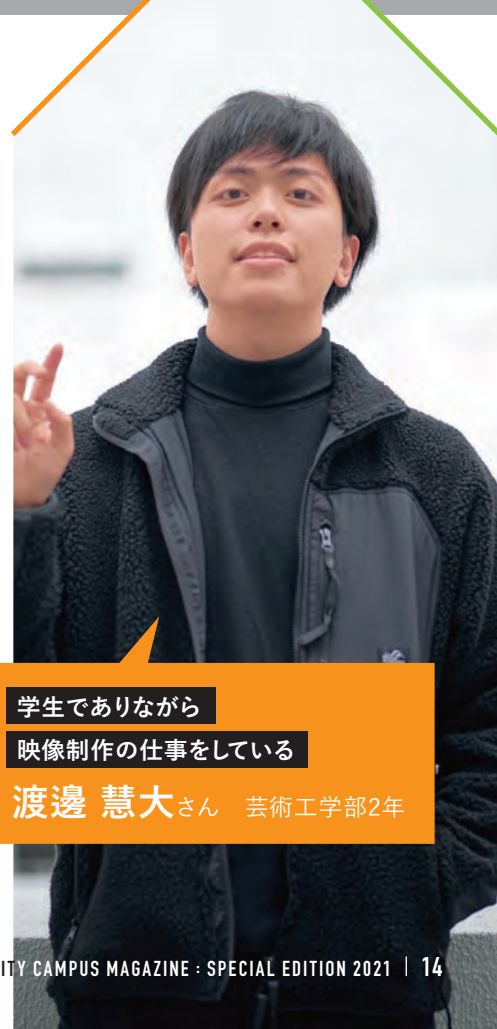
Q. 大学1年生の時にやっておいた方が良かったことは何ですか？

学年が進むにつれてどんどん忙しくなるので、好きなことを、時間を惜しまずにやっておけばよかったなと思います。僕は1年生の時にサークルに7つも入っていて、それらのサークルで与えられた作業をこなすことは大変でした。1年生の頃から自分の好きなことだけを追い続けている人を見ると、純粋にやりたいことをやっておけばよかったなと思います。

Q. 今後どのような活動をしていきたいですか？

自分にとって、映像とは人と人を繋げるものだと思っています。先輩方など、色々な方のご縁で仕事をもらっているのが、有名になったり、大きな仕事をしたいというよりも、映像を通じてもっと多くの人と出会いたいです。また、映像制作を通して、頑張っている人を後押ししたり、一緒に頑張ったりできるような場所で、規模を問わずこれからも関わり続けたいです。

渡邊さんの制作映像はこちらから閲覧可能です! ➡



学生でありながら
映像制作の仕事をしている
渡邊 慧大さん 芸術工学部2年

Q. 自己紹介をお願いします。
物理学の素粒子理論を専門としており、自然界のミクロな構造や普遍的な物理法則を明らかにすることを目指しています。また、物理教育や学習科学についての研究にも取り組んでいます。

Q. 先生は物理学だけでなく教育学の分野にも取り組んでいらっしゃいますが、近年求められるようになった学際的な学びの意義とは何でしょうか？
様々な専門知識を取り入れて解決を図ることが必要となる問題が増えています。また、日常の生活でも



小島 健太郎先生
基幹教育院 准教授

Q. 自己紹介をお願いします。
言語学(英語)が専門で、それを応用した英語教育にも取り組んでおり、参考書や辞書作りもしています。基幹教育では主に共創学部英語を担任しています。最近の言語学には、言葉のデータを使って意味や用法を研究するコーパス言語学というものがあるのですが、それも僕の研究分野です。普段あまり意識せずに使っている「言葉」ですが、よく考えると面白い!という発見をしてほしいと思って研究をしています。

Q. 英語を教える中で意識していることは？
『発信』を重要視しています。授業では毎回1分間スピーチを取り入れているのですが、最初はみんな喋れない。どこかに劣等感があります。ですが段々慣れてくる。話す癖をつけることで力は伸びると実感しています。

また、言語学概念を授業に組み入れることはこれだけの一つです。例えば distraction という単語。tract が「ひきつける」の意味と分かれば、attraction= 気を引くこと(魅力)、dis は否定の意味なので distraction= 気が散る事とわかると思います。そういうことを『知る』のではなく『理解』してほしい。そうすれば記憶に定着しやすいというのが僕の考えです。

Q. 高校と大学の英語の違いは？
高校は学習範囲が決まっています。いわばそれは周りが泳泳禁止の海水浴場のようなもので、泳ぎやすい。ですが、大学はそれが大海原になります。制限のないその海で泳げるかどうか異なる点ではないでしょうか。

Q. そんな「大海原」で泳ぐためには？
教員が教えられるのは概念やストラテジーまでです。それを生かせるかはみなさん次第。何となく流れてしまう毎日かもしれませんが、1日の最後に「これから1週間はこれを意識してみようかな」と考えてみたり、気になったことをすぐに実行に移してみたり。自分に合った方法を見つけるために、日々試行錯誤をしてほしいですね。

様々な分野の人と仕事をする場面は多々あります。そんな時、少し相手の分野の知識があるだけで話が非常に進みやすいと思います。そして、そのことがきっかけでお互いに協力して何かを成し遂げることもありますね。

Q. 担当される授業の魅力を教えてください。
2021年度の担当は基幹教育セミナー、課題協学、身の回りの物理学A(夏・秋)、電磁気学概論、熱量概論です。基幹教育セミナーでは、他の人の学びを知ることを通じて自分自身にとっての学びの意義を考えます。大学では勿論ですが、私たちは社会に出てからも日々学び続けなければなりません。その為、基幹教育セミナーを通じて学びの意義を考えることは将来の糧にもなります。

また、課題協学では数学を用いた意思決定をテーマにしています。学生同士で意見を出し合うことを最重視しており、自由な発想に基づいて課題解決に取り組めます。

Q. 基幹教育の授業だからこそ、特に意識していることや1年生に求めることはありますか？
基幹教育では学び方を学びます。大学では自ら課題設定を行ったうえで、その課題を解決することが求められます。自分で問題を発見する姿勢を、授業を通



内田 諭先生
言語文化研究院 准教授

Q. 学生に向けてメッセージをお願いします。
大学は囲いが無いからしんどい場所です。制限があった方が間違いなく楽だと思います。ですが、囲いのない場所に飛び出す勇氣を持ってほしいし、飛び出せることを楽しんでほしい。学部や大学にとらわれる必要もありません。大学は何でもできる場所です。ただ単位を取って卒業するのではなく、九大のリソースを使って自分のしたいことを広げていってほしいです!



長津 結一郎先生
芸術工学研究院 助教

じて得てほしいと思います。その為には授業の内容をすべて正しいものとして受け止めるのではなく、時には疑問視する姿勢で挑み、先生と議論することにも挑戦してほしいですね。

Q. コロナ禍の授業で、例年と変えたポイントはありますか？

オンラインツールをわかりやすく使うことを徹底すると共に、教員間でもオンライン授業について意見交換を頻繁に行い、「オンラインで残念だった」と思われないような授業づくりを目指しました。対面の時よりも活発に質問が出るなど、オンラインの意外なメリットもありました。

Q. 学生にむけてメッセージをお願いします。
1年生は様々な人と会えず、話す機会がない中、自分の興味・関心を広げて、新しいものにチャレンジする姿勢で学んで欲しいと思います。また、ぜひ積極的に教員に質問したり、話しかけてみてください。単に授業を聞くよりもずっと深く学ぶ機会が得られるはずです。

基幹教育
で出会う
新しい学び。

新たな知や技能を創
解決していくた
「ものの見方・考え方
それが九州大学
広報室学生スタッフ
個性豊かな先生方



安立 清史先生
人間環境学研究院 教授

私は「世界が仕事場」という科目を担当しています。海外経験のある方や、世界に通用する仕事をしている方々に話をし頂き、学生の皆さんはそれを元に考え、議論をするという授業です。研究者や国連

学生は講義を聴いて触発され、書きながら物事を考えていく。そして、思考しながらさらにその思考が広がっていくことの面白さを感じることができたのではないかと思います。

Q. 新1年生に、意識してほしいことはありますか？
大学生生活は4年間ありますが、本当に大学生

Q. 自己紹介をお願いします。
現在は留学生センターにて学生の海外留学をサポートすることをメインに仕事をしています。九大に来る前は、米国と英国で学位を取得、米国ダートマス大学極地研究所を経て、前職はアラスカ政府の野生動物管理局の研究者でした。
旅行先のアラスカで見たイヌイット・エスキモーの踊りに心を打たれ、彼らの文化を学ぶためにアラスカ大学に入学して人類学の門を叩くことにしました。その時が人生の転機だったのかもしれません。結果として18年間海外で研究をつづけたのち、5年前に帰国しました。
日本での自身のキャリアとして、これまでの経験を活用して自分の母国の発展に貢献したいという思いから、日本の将来を担う学生と一緒に学ぶことで、今後の日本を一緒に作るお手伝いができる大学の教員になることを決意しました。

Q. コロナ禍の授業で、例年と変えたポイント、工夫点はありますか？

障害は様々ありますが、コロナ禍の不自由な環境も一つの“障害”だと考えて、この障害の中で学生が何を表現できるか、この状況をどのように楽しめるかを意識し、YouTubeやラジオ、バーチャル背景を使った作品制作など、様々な事に挑戦しました。オンライン生活に少し飽きている中、Zoomなどのツールで遊べることや、自分の思いを普段とは異なる形で表現することを、この活動で体験してもらいたいです。

Q. 基幹教育の授業だからこそ、特に意識していることや1年生に求めることはありますか？

『問いを投げかけて終わる』ことを大事にしています。授業では障害についての主張や知識を押しつけるのではなく、考え方のフレームを示し、学生自身で考えてもらいます。高校とは違い、大学の学習は自分で問いを見つけて解くことが大切です。新入生の皆さんには、授業の“問い”を通して、そのような力を身につけてほしいです。
また、自分が興味のない分野を勉強してほしいで

Q. 自己紹介をお願いします。
大学生の時に社会学を専攻していました。その頃は社会学の中で自分のテーマを見つけることに苦労していました。大学院の修士・博士課程になると苦しみはさらに強くなりました。

私の転機はアメリカに留学していた時です。留学時に阪神淡路大震災が発生し、私はその状況をラジオで聴いていました。震災の中で人々は助け合い、ある種のユートピアを築いていました。その時に私はこの状況下で、政府行政ではなく市民が社会の柱として活躍することが社会学だと掴みました。このような経験が今の私を形づくることになったのです。

Q. オンライン授業で心掛けたことはありますか？
オンライン授業の最大の問題点は教室での授業以上に一方的な授業となりうる点でありました。その状況下で工夫した点として、授業の最後の時間に学生に対して授業に関する問いかけを示しました。そして、その問いかけの回答を学生にレポートの形で求めた所、なんと毎週何百枚もの感想シートが返ってきたのです!

学生は講義を聴いて触発され、書きながら物事を考えていく。そして、思考しながらさらにその思考が広がっていくことの面白さを感じることができたのではないかと思います。

Q. 新1年生に、意識してほしいことはありますか？
大学生生活は4年間ありますが、本当に大学生

Q. 自己紹介をお願いします。
現在は留学生センターにて学生の海外留学をサポートすることをメインに仕事をしています。九大に来る前は、米国と英国で学位を取得、米国ダートマス大学極地研究所を経て、前職はアラスカ政府の野生動物管理局の研究者でした。
旅行先のアラスカで見たイヌイット・エスキモーの踊りに心を打たれ、彼らの文化を学ぶためにアラスカ大学に入学して人類学の門を叩くことにしました。その時が人生の転機だったのかもしれません。結果として18年間海外で研究をつづけたのち、5年前に帰国しました。
日本での自身のキャリアとして、これまでの経験を活用して自分の母国の発展に貢献したいという思いから、日本の将来を担う学生と一緒に学ぶことで、今後の日本を一緒に作るお手伝いができる大学の教員になることを決意しました。

Q. 担当されている授業の特徴・魅力を教えてください。

私は「世界が仕事場」という科目を担当しています。海外経験のある方や、世界に通用する仕事をしている方々に話をし頂き、学生の皆さんはそれを元に考え、議論をするという授業です。研究者や国連

今。今の価値観で自分に合う・合わないを決めず、将来自分が学びたいことを勉強してください。私自身、現在、音響設計やデザインを学ぶ学生を指導していますが、大学時代はその面白さに気づきませんでした。当時勉強しておけば今に活かせたと後悔しています。将来への投資だと思って様々な分野に取り組んでください。

らしい生活を満喫できるのは1年生だと思います。私の経験でも大学1年生時には授業やサークル、イベント参加を通じて自分の世界が広がっていくと感じていました。しかし、学年が上がり、勉強すればするほど現実的な問題・思考に足をすくわれ、柔軟な発想力が失われていくのも感じました。コロナ禍で今年も以前とは異なる学生生活を送ることになると予想されますが、その中でも自分の興味関心を拡大していくような勉強を進めてほしいです。

Q. 学生に向けてメッセージをお願いします。
振り返ってみると、昨年の新入生はコロナの流行により活動が制限され、マイナスの世界に落とされたと思われます。そのような苦悩の末に、私たちは元の世界に戻って行くだろうと思います。その時重要なことはただ元に戻るのではないということです。今の苦しい時期を経験した分、より違ったものに変わっていくことです。そのための、コロナ禍の中で自分たちが行動すべき指針が、実は皆さんご存じの「ローレンス」や「風の谷のナウシカ」などの作品に詰め込まれています。今年も不自由な状態が続くと思われるですが、人気作品から社会学を学ぶ私の授業を通して、この状況下でどのように行動するべきかを一緒に考えていきましょう!



生田 博子先生
留学生センター 准教授

職員、ジャーナリストの方などにお話を願います。ですが、偉い人が偉い話をして面白くないですね。だから、挫折や失敗に直面した時、どのように人生を切り開いたかを伝えてもらうようにしています。役者になったかった国連職員さん、作家になったかったお医者さんなど、華々しいキャリアを持っていたも実は違う夢があった方もいらっしゃるんですね。そういった方のお話を聞いて、いろんな生き方があることを学生の皆さんに感じてほしいと思っています。

Q. 基幹教育の授業だからこそ特に意識していることや1年生に求めることはありますか？

この授業は、本来1年生の受講が多い基幹教育の科目であるにも関わらず、受講生の1/3は大学院生、学位留学をしている留学生、30-40代の学生など多様性があります。学生は、教員からよりも学生同士から学ぶことが多いと思います。ですから、感想や疑問を共有して「互いに学ぶ」ことを重視しています。特に1年生には、学年には関係なく自分の意見をしっかり発言してほしい。そして夢を語ってほしいです。

Q. 学生に向けてメッセージをお願いします。
私は楽しい人生を過ごすことが生涯における重要な要素だと思います。充実した人生をどのように見つけるか、その方法をを見つけることが鍵になります。確かに外国語はグローバル化が加速する今日にて有益な情報をインプット、アウトプットする上で必要ではあります。しかし、外国語はあくまで会話する道具であり、それを用いて考える・発信する力が、自分にとって望ましい道を見つける上で重要になると思います。

Challenge!

課外活動

文化系
団体編

ここでは、九州大学の文化系団体の一部をご紹介します！各サークルの皆さんから活動紹介をしていただきました。きっと、聴き馴染みのないサークルもたくさん！高校とは一味違う活動もできるかも??



CHANCE

こんにちは！教育系サークルのCHANCEです！
私たちは主に小学生を対象にした、将来について考える楽しいイベントを開催しています。小学生を大学に招待して一緒に探検したり、小学校の授業に邪魔してお話したり、公民館でキャンプをしたり…。現在は、コロナ禍でも開催できるイベントを企画しています。
毎週火曜日に、メンバーでミーティングを行っています。メンバーの学部学科は様々です。子どもと関わるのが好きという方はもちろん、何かチャレンジしてみたいという方など、たくさんの方がCHANCEに興味を持ってくれたら嬉しいです！活動についてはSNSでも紹介しているので、ぜひご覧ください！

フォークソング部 (Q-folk)

Q-folkは九州大学公認の軽音サークルです。名前こそフォークソング部ですが、フォークソングとは名ばかりで、ポップやロックから、アニソン、メタルまで、幅広いジャンルを扱っています。部員数は40人ほどと、他のバンドサークルに比べると決して多いとは言えませんが、一人ひとりが音楽に対して並々ならぬ熱意を持ち、精力的に活動しているのが特徴です。

例年だと月1回ほどのペースでライブを開催していますが、現在はコロナ禍のため、思い通りの活動ができていません。新入生の皆さんと共にライブができる日が来ることを、部員一同楽しみにしています！



他にもたくさんの団体が活動しています！
各団体のSNSや連絡先など詳しくはこちらから！
<https://kagai.student.kyushu-u.ac.jp/>



iTOP

私たちiTOPは「学生と地域をつなぐまちづくり」を目標として、糸島の地域活性化に取り組んでいます！その内容は、自分たちでカフェを運営したり、DIYで古民家を再生したり、地域の子どもたちとふれあったりとさまざま！

そして、iTOPの魅力は何といっても、一緒に楽しく学び合える沢山の素敵な仲間たち！新しいことに挑戦したいと思っている皆さん、私たちと一緒に、ここでしか経験できない最高の4年間をつくりましょう！

SNS等で新歓情報含め、活動の紹介を行っています。皆さんに会えることを楽しみにしています！

ねこ部

こんにちわ！九大ねこ部です！
ねこ部って何するの？と思う方も多いでしょう。活動を簡単に紹介すると、週1回のミーティングを行い、猫を中心に人と動物や自然について考えることを目的に活動しています！他にも猫に関するイベントにボランティアとして参加したり、シンポジウムを開催したり…実はまじめなサークルです。一方で、猫島旅行や猫カフェ巡りなど、猫好きならではの活動もしています！

コロナ禍でもオンラインで活動しているので、猫好きな人も、ねこ部の活動に興味を持った人も、ぜひ見学に来てください！



マンドリンクラブ

こんにちは！九州大学マンドリンクラブです！マンドリンというのは、イタリア発祥の弦楽器です。私たちのサークルでは、マンドリン派生の楽器やギター、コントラバスを用いてオーケストラを結成し、課外活動施設で週2日ほど、年に2回ある定期演奏会に向けて活動しています。楽器・音楽初心者が多いのがサークルの特徴で、その分みんなとともに成長する喜びも味わえます！

サークルに興味を持ってくれた方は、SNSなどを通して、楽器見学に来て欲しいです！皆さまからの連絡、お待ちしております！

能楽部

能楽部、という部活が九大にあるのを知っていましたか？私たち能楽部は5人という少ない部員で低い知名度と闘いながら、月2回、月曜日に、中央区にある森本能舞台でお稽古に取り組んでいます。

経験の有無に関わらず、プロの能楽師から観世流の能楽を習うことができ、4年生になると「自演会」という発表会で能のシテ(主役)を務めることができます。能楽の謡、仕舞以外にお囃子を習うことも可能ですし、年に何度かある発表会では袴も履けます。

現在は廃部の危機から脱するため、SNSにて宣伝を行っています。是非「九州大学能楽部」で検索してください！



狩猟研究会

狩猟研究会は、狩猟を通して「いのちについて考える」ことを目指しています。伊都キャンパスでは猪が多くて問題になっています。我々は箱罠を使ってその猪を捕獲して解体し、肉や骨、皮などを調理・加工して活用しています。

活動は不定期で、自由参加です。顧問の先生と部員で相談して活動する日を決めています。他にも、狩猟免許取得に向けたサポートなども行っていますが、免許がなくても活動には参加できます。皆さんも我々とともに狩りに出て、いのちについて考えませんか？ご興味のある方は是非ご連絡ください。お問い合わせは、kyudai.hunt@gmail.com まで！



書道部

書道部は、九大祭での書道展や卒業制作展等へ向けた作品作りを中心に、活動を行っています。そのほかにも、様々なイベントで書道パフォーマンスを披露したり、留学生交流会を開催して書道の魅力を伝えたりしています。また、旧七帝国大学合同で書道展を開催し、他大学との交流も深めています。合宿等のイベントもあり、充実した大学生活を送れること間違いなしです！作品は自分の好きなように作れるので、字の上手さなんて関係ありません！

初心者も大歓迎です！九大書道部のwebサイトやSNSでも情報発信しているので、ぜひご覧ください！

非公認サークルって？

九州大学の公認サークルになるためには、「3年以上活動していること」や、「2学部以上のメンバーがいること」などの条件があります。そのため、ここ数年で新しくできたサークル、同じ学部のメンバーのみで構成されているサークル、公認の申請をしていないサークルは、「非公認サークル」となり、九州大学公式のウェブサイトで紹介されることはありませんが、面白い活動をしているサークルがたくさんあります。ぜひぜひ探してみてください！！

いと×バイ!

いと×バイ!に関わるときっと伊都生活の幅が広がりますよ！

いと×バイ!は糸島の方々と九大生との間で、アルバイトを通して親密な関係を作ることモットーに活動しています。そんな関係づくりの支え役として、私たち運営がいます。とってもゆるいのですが、2週間に1回程度集まりミーティングを行います。休みの日には、知り合った農家さんの家で農作業を行ったり、地域の方とキャンプをしたり楽しく活動しています。SNSやHPで活動報告をしているので見ていただけたらうれしいです！

<https://itobai110.jimdofree.com/>

非公認サークルでも、こんな素敵な活動が！

